

平成 29 年度「幼児教育に関わる実態調査（アンケート）」の結果について

I 調査の概要

1 目的

幼児教育の充実のために策定した第 2 期「学ぶ土台づくり」推進計画の進行管理を行っていく上での基礎資料とするとともに、今後の幼児教育の取組の企画立案に反映させる手掛かりを得るものとして実施する。

2 調査範囲

県内の国公立・私立の幼稚園，保育所，認定こども園及び認可外保育施設

3 調査対象

(1) 幼児教育に関わる実態調査

- ・ 県内全ての幼稚園，保育所，認定こども園及び認可外保育施設の全教員と保育士（臨時職員，非常勤職員及び講師を除く）

(2) 幼児教育に関わるアンケート

- ・ 県内全ての幼稚園，保育所，認定こども園及び認可外保育施設の全園児の保護者

4 調査方法

インターネットによる回答

※ 調査対象者（教員，保育士，保護者）が，宮城県教育庁教育企画室のウェブサイトアクセスして回答（宮城県電子申請システムの活用）（無記名，多肢選択方式）

5 調査期間

平成 29 年 6 月 23 日（金）午前 9 時から平成 29 年 7 月 7 日（金）午後 5 時まで

6 調査内容

第 2 期「学ぶ土台づくり」推進計画に定めた 4 つの目標ごとに，以下の点を調査する。

- ・ 親子間の愛着形成の現状
- ・ 子供の基本的な生活習慣の現状
- ・ 子供の体験活動の現状
- ・ 幼児教育の環境についての現状 等

7 回答数

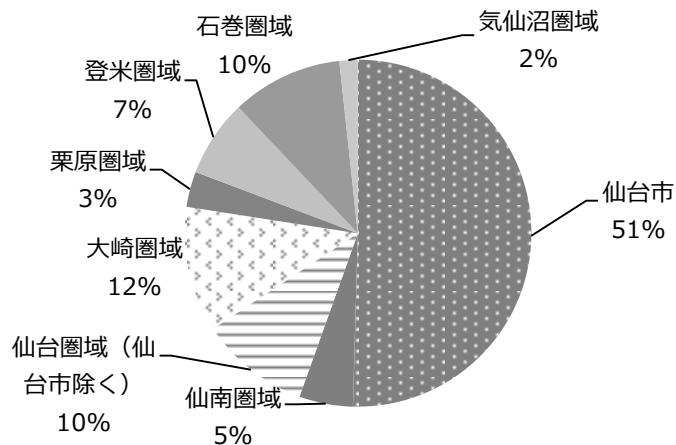
対 象	対象 施設数	回答数（人）						
		園長・所長	回答率	教員・保育士	保護者 （父）	保護者 （母）	保護者 （その他）	
幼稚園	国公立	72	22	30.6%	107	21	320	0
	私立	164	18	11.0%	93	71	949	0
	小計	236	40	16.9%	200	92	1,269	0
保育所	公立	176	54	30.7%	342	45	410	2
	私立	245	20	8.2%	116	25	287	1
	小計	421	74	17.6%	458	70	697	3
認定こども園	30	5	17.2%	33	15	237	1	
認可外保育施設	281	29	10.3%	39	8	52	0	
合 計	968	148	15.3%	730	185	2,255	4	
総合計		878			2,444			
		3,322						

II 集計結果

幼児教育に関わる実態調査（園長・所長，教員・保育士等対象）

➤ 回答状況

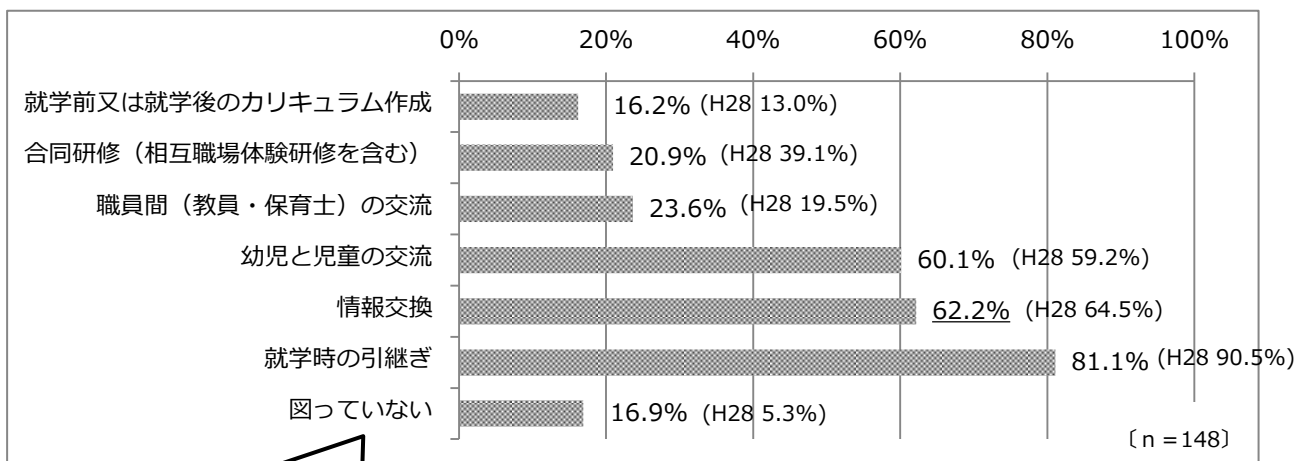
- ・ 回答数 878件（園長・所長 148件，教員・保育士等 730件）
- ・ 施設別件数 幼稚園 240件（40施設），保育所 532件（74施設），
認定こども園 38件（5施設），認可外保育施設 68件（29施設）
- ・ 施設所在地



- ・ 回答方法 パソコン 50.6%，スマートフォン 27.8%，紙 20.5%

1 幼・保・小連携について【園長・所長のみ回答】

1-1 小学校とどのような内容の連携を図っていますか。（該当するもの全て選択）★目標指標 No. 14



私立保育所 3施設/20施設，認可外保育施設等 22施設/29施設

「情報交換」目標値 (H29) : 80%

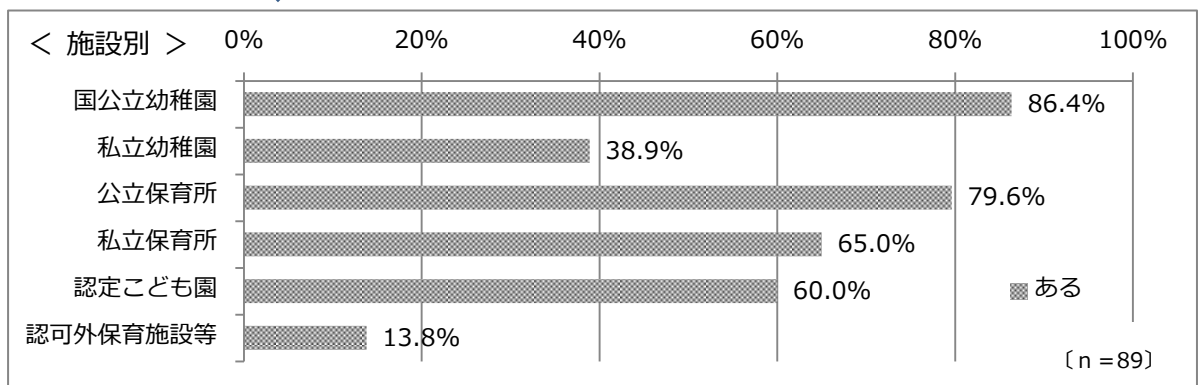
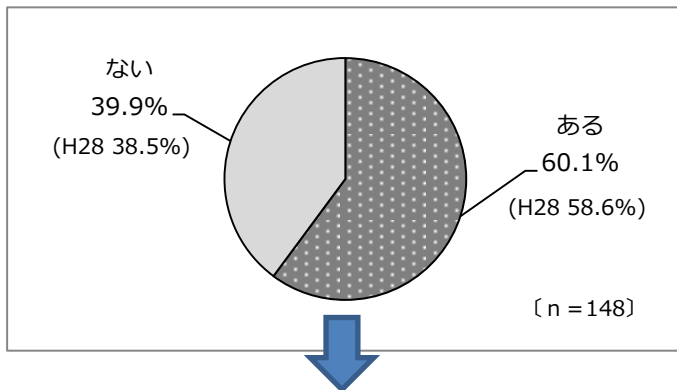
<施設別>

	国公立幼稚園	私立幼稚園	公立保育所	私立保育所	認定こども園	認可外保育施設等
カリキュラム作成	31.8%	5.6%	20.4%	20.0%	20.0%	0.0%
合同研修	50.0%	16.7%	24.1%	10.0%	20.0%	3.4%
職員間の交流	59.1%	27.8%	22.2%	15.0%	20.0%	3.4%
幼児と児童の交流	90.9%	72.2%	70.4%	60.0%	80.0%	6.9%
情報交換	95.5%	61.1%	75.9%	55.0%	100.0%	10.3%
就学時の引継ぎ	100.0%	100.0%	98.1%	80.0%	100.0%	20.7%
図っていない	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	72.4%

<概要①>

- 小学校との連携内容については、カリキュラム作成や職員間の交流、幼児と児童の交流を行っている割合が昨年度から増加したものの、「図っていない」割合も11.6ポイント増加した。施設別では、認可外保育施設等における「図っていない」割合が72.4%であり、特に高くなっている。

1-2 小学校との連携を図るための連絡協議会等の連携組織がありますか。

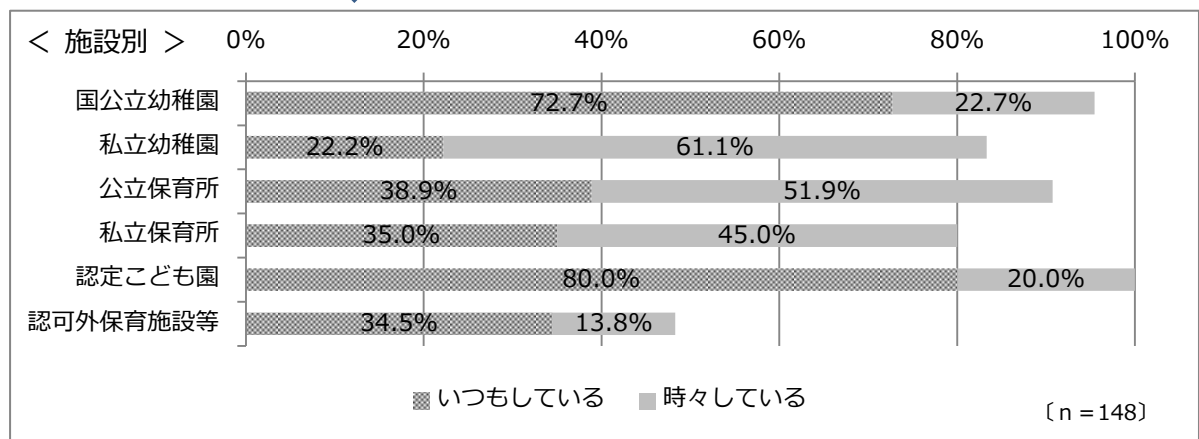
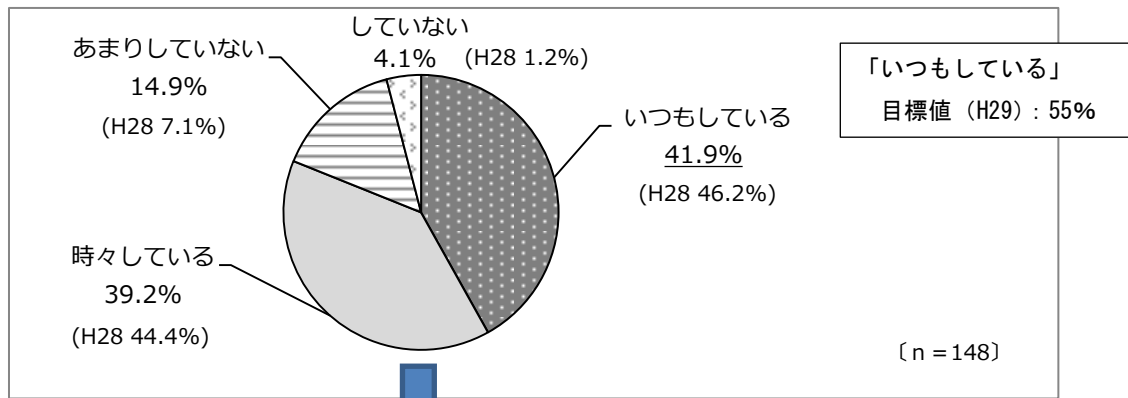


<概要②>

- 小学校との連携組織については、「ある」の割合が昨年度から1.5ポイント増加した。施設別では、私立幼稚園や認可外保育施設等における割合が低くなっている。

2 基本的な生活習慣について【園長・所長のみ回答】

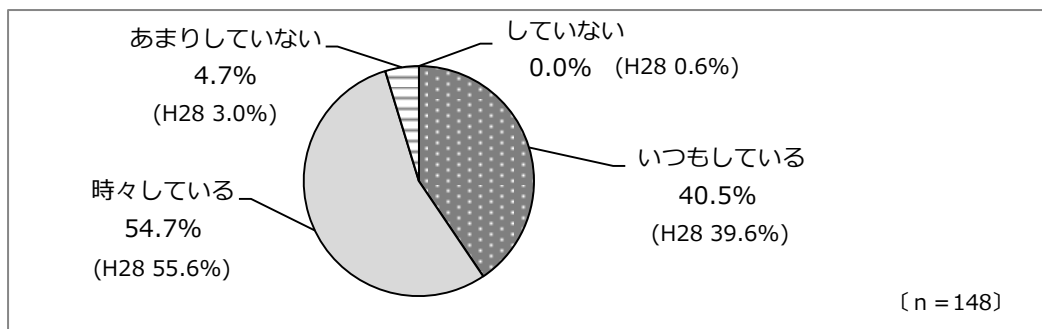
2-1 幼稚園や保育所等の活動において「はやね・はやおき・あさごはん」運動などの基本的な生活習慣の確立のための取組をしていますか。 ★目標指標 No. 6



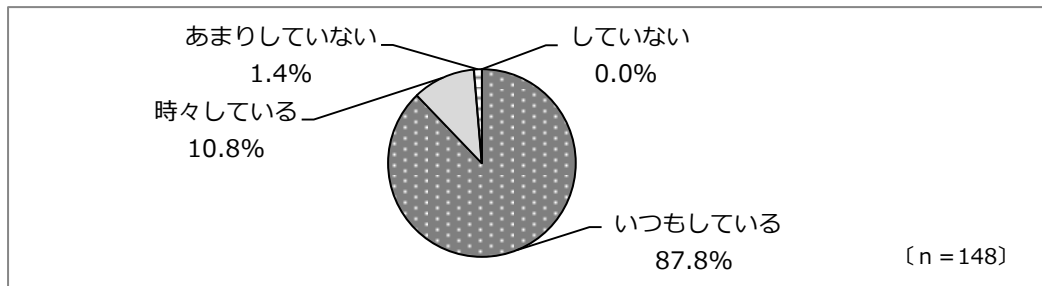
<概要③>

- 基本的な生活習慣の取組については、「いつもしている」と「時々している」を合わせた割合が81.1%であり、昨年度から9.5ポイント減少した。施設別では、認可外保育施設等における割合が合わせて48.3%であり、半数以下となっている。

2-2 基本的な生活習慣の確立のために、家庭への啓発をしていますか。



2-3 外遊びや運動など体を動かす習慣の確立のための取組をしていますか。 ※H29新規

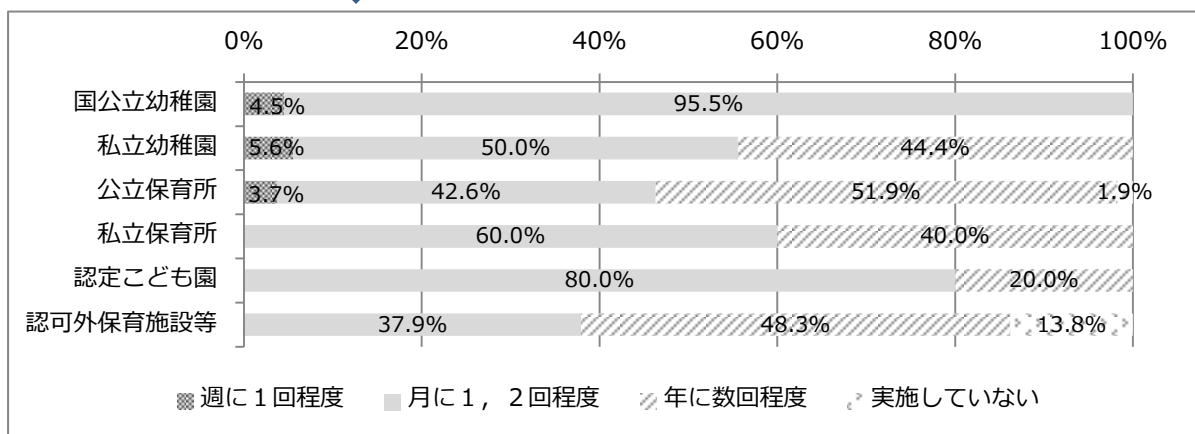
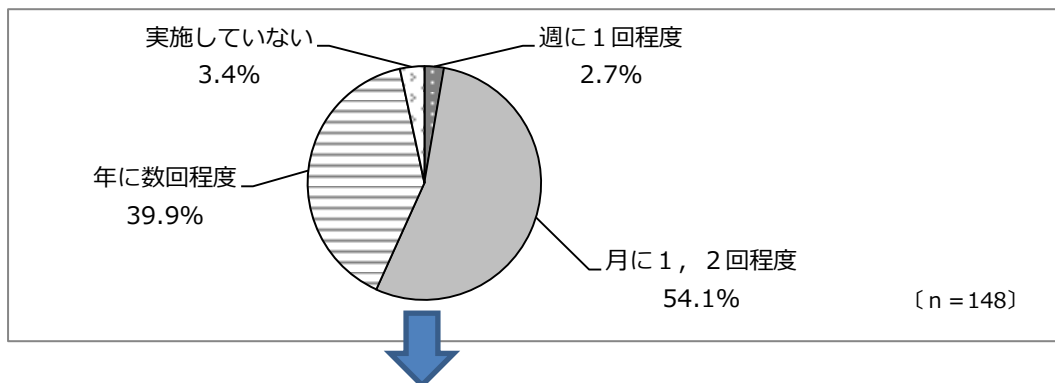


<概要④>

- 外遊びや運動などの取組については、「いつもしている」と「時々している」を合わせた割合が98.6%であった。
- ⇒ 各施設においてその重要性が認識され、外遊びや運動の機会が確保されているものと考えられる。

3 園内研修について【園長・所長のみ回答】

園内研修の頻度についてお答えください。 ※H29新規

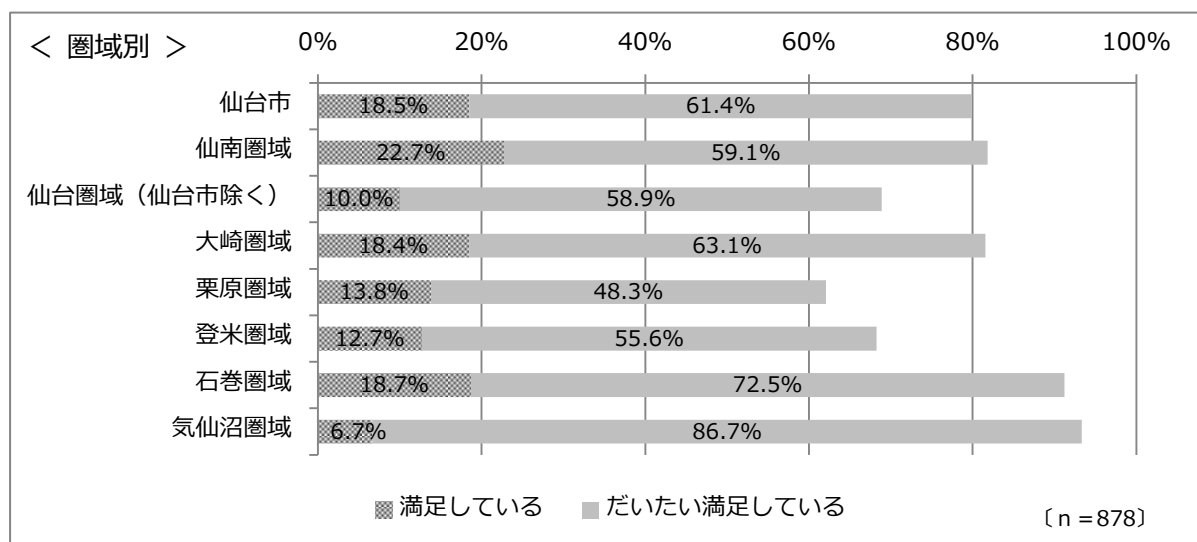
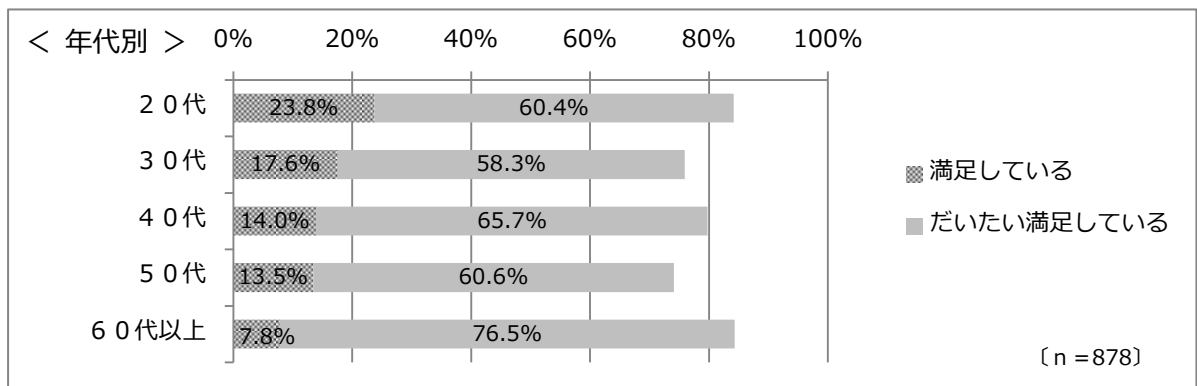
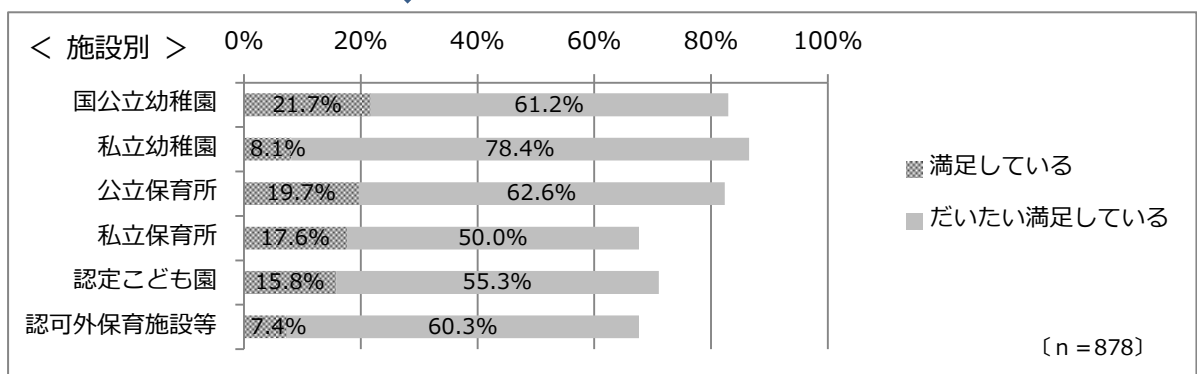
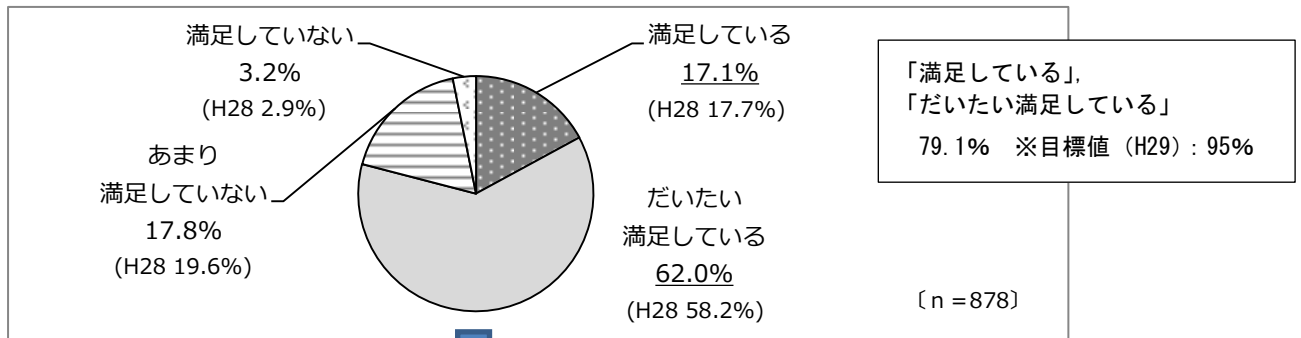


<概要⑤>

- 園内研修の頻度については、「週に1回程度」と「月に1, 2回程度」を合わせた割合が56.8%であり、半数を超えている。施設別では、国公立幼稚園及び認定こども園における園内研修の頻度が高く、認可外保育施設等における園内研修の頻度が低くなっている。

4 研修について

4-1 現在のご自身の研修状況についてお答えください。 ★目標指標 No. 16

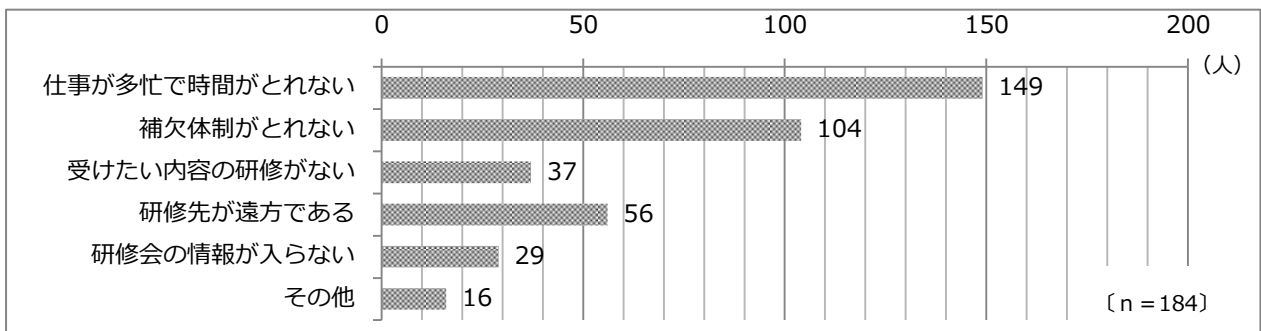


<概要⑥>

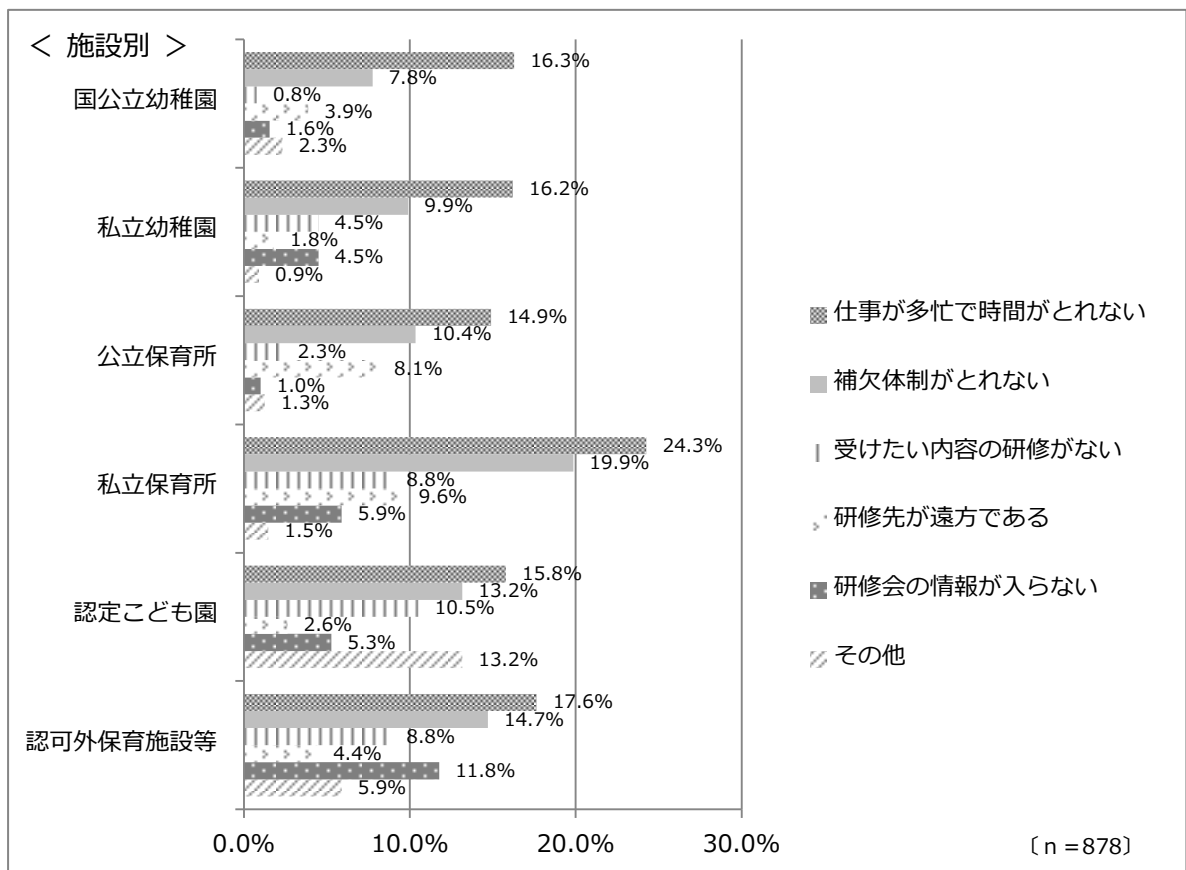
- 研修状況については、「満足している」と「だいたい満足している」を合わせた割合が79.1%であり、昨年度から3.2ポイント増加した。
- 施設別では、私立保育所と認可外保育施設等の割合が低く、年代別では、30代及び50代の割合が低くなっている。また、圏域別では、石巻圏域及び気仙沼圏域の割合が高くなっている。

4-2

4-1で「あまり満足していない」又は「満足していない」と回答した方は、その理由をお答えください。(該当するもの全て選択)



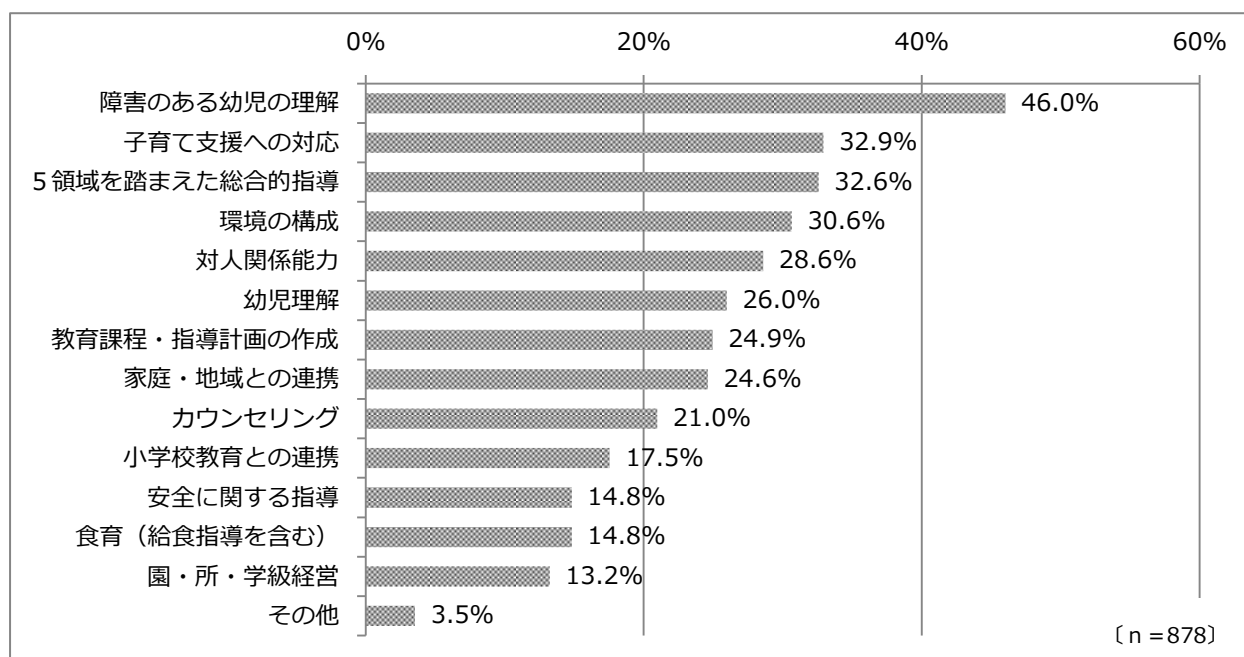
※その他： 研修は無給か有休となるため、自分の希望で研修を決められない（上司が決める）、旅費の削減で年度途中に分かる研修会に参加できない、臨時職員には研修の機会がない 等



<概要⑦>

- 研修に満足していない理由については、「仕事が多忙で時間がとれない」が最も多く、特に私立保育所における割合が24.3%と高くなっている。
- 認可外保育施設等においては、「研修会の情報が入らない」の割合が11.8%であり、他の施設と比べて高くなっている。

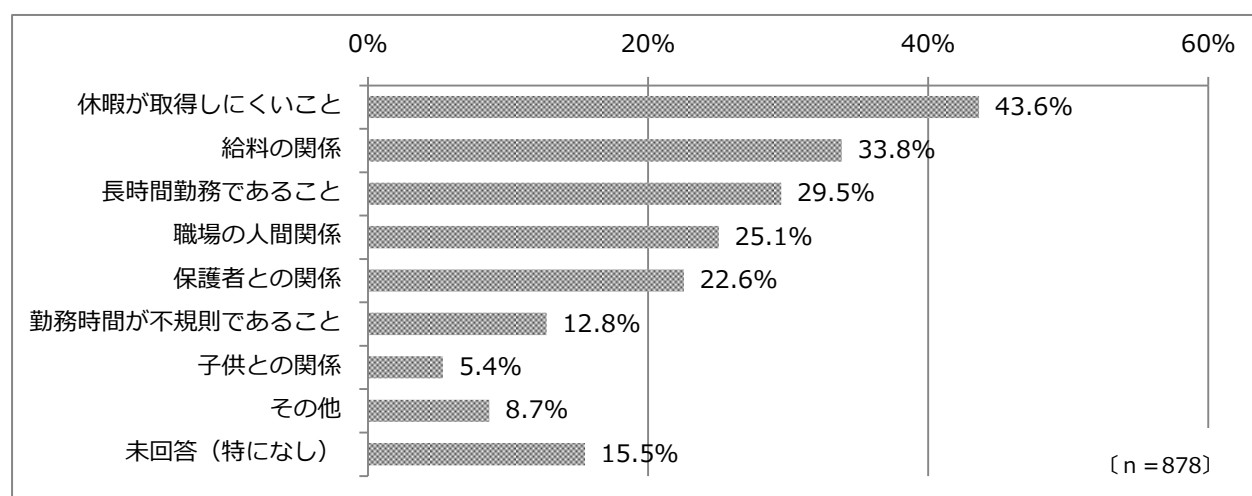
4-3 今後、受講したい研修会等の内容についてお答えください。(該当するもの3つ選択)



※その他： 関係機関との連携について、人材育成、運動遊びについて、コーチング 等

5 職業上の悩みについて ※H29新規

働く上で悩んでいることがありましたら、その理由をお答えください。(該当するもの全て選択)



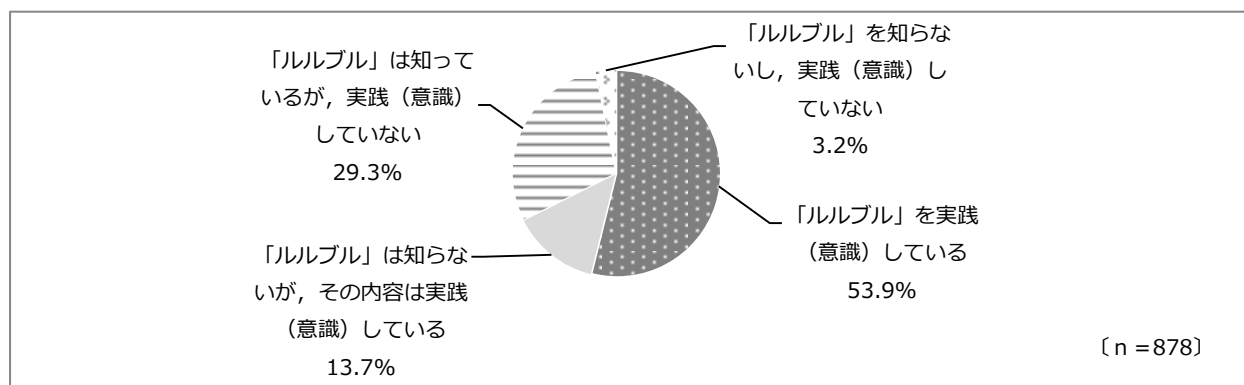
※その他： 事務量が多い、持ち帰りの仕事が多い、仕事優先で家庭が後回しになる、自分の健康、安全管理・環境整備、正職員より臨時職員が多い 等

<概要⑧>

- 職業上の悩みについては、「休暇が取得しにくいこと」の割合が43.6%と最も高い。
なお、私立幼稚園、私立保育所及び認可外保育施設等では、「給料の関係」の割合が最も高く、特に私立保育所では約7割を超えている。

6 「ルルブル」について

子供の基本的な生活習慣の確立に向けた「ルルブル」の取組に関して、ご自身の教育・保育における取組状況についてお答えください。

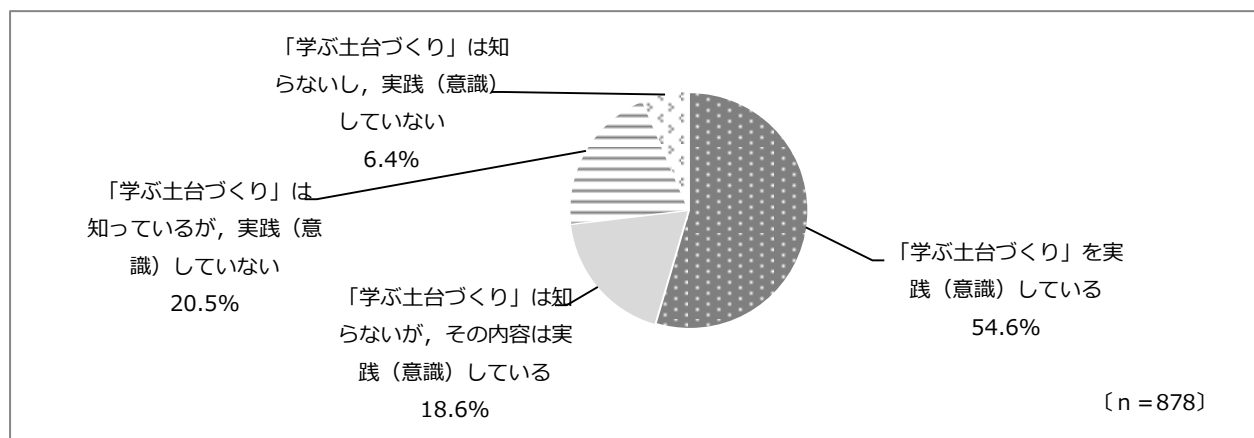


<概要⑨>

- 「ルルブル」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が67.6%であった。
- 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が29.3%であった。
⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

7 「学ぶ土台づくり」について

幼児教育の充実に向けた「学ぶ土台づくり」の取組に関して、ご自身の教育・保育における取組状況についてお答えください。



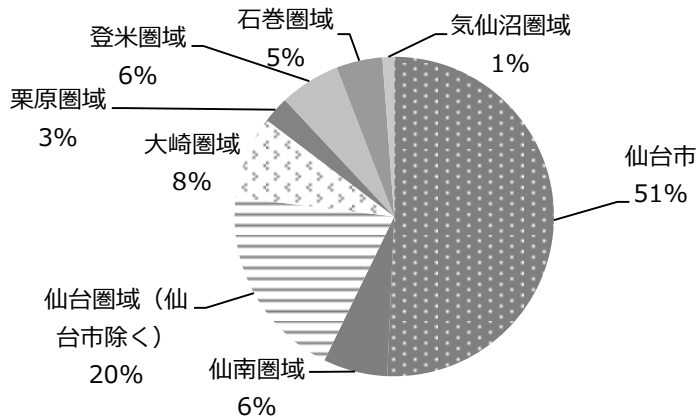
<概要⑩>

- 「学ぶ土台づくり」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が73.2%であった。
- 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が20.5%であった。
⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

幼児教育に関わるアンケート（保護者対象）

➤ 回答状況

- ・ 回答数 2,444 件
- ・ 施設別件数 幼稚園 1,361 件, 保育所 770 件, 認定こども園 253 件, 認可外保育施設 60 件
- ・ 居住地

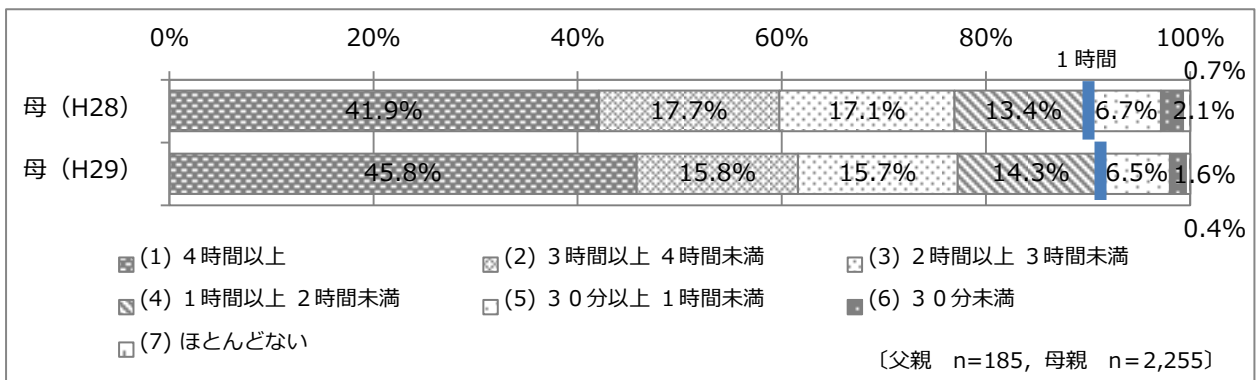
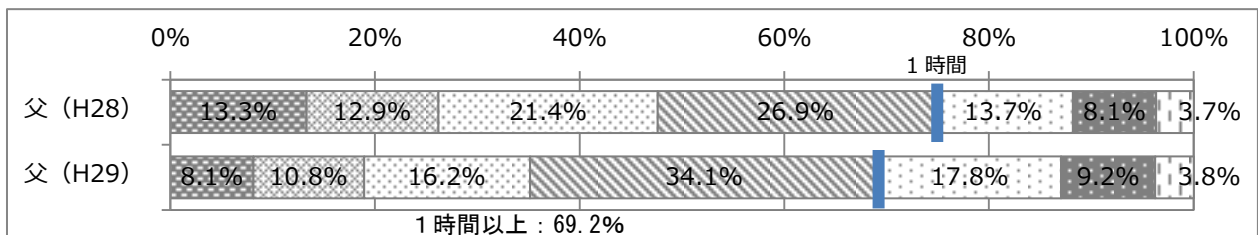


- ・ 回答方法 パソコン 29.3%, スマートフォン 70.7%

1 親子の関わりについて

1-1 あなたは、平日（休日以外）にお子さんと触れ合う時間はどの位ありますか。（食事と入浴を除いた1日当たりの平均時間）★目標指標 No.1

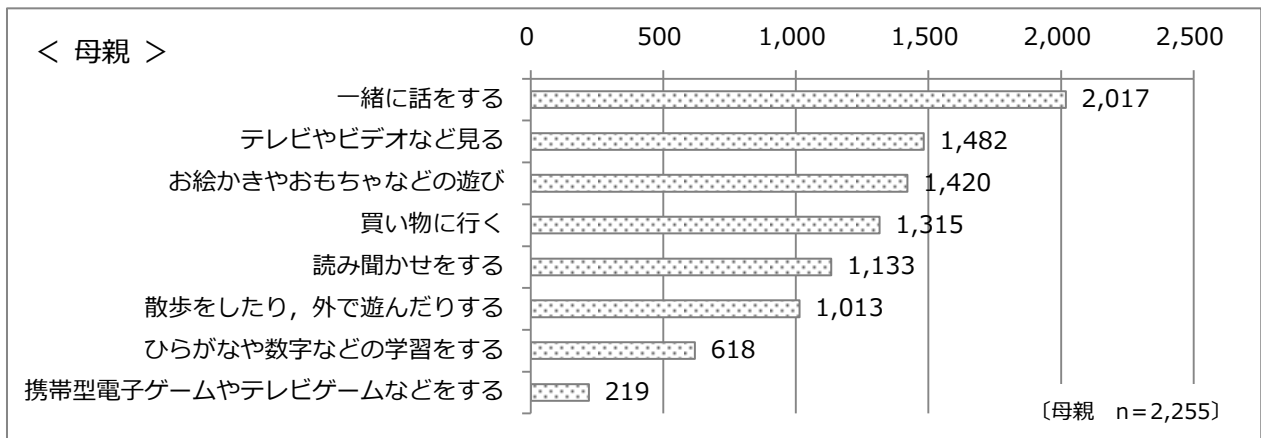
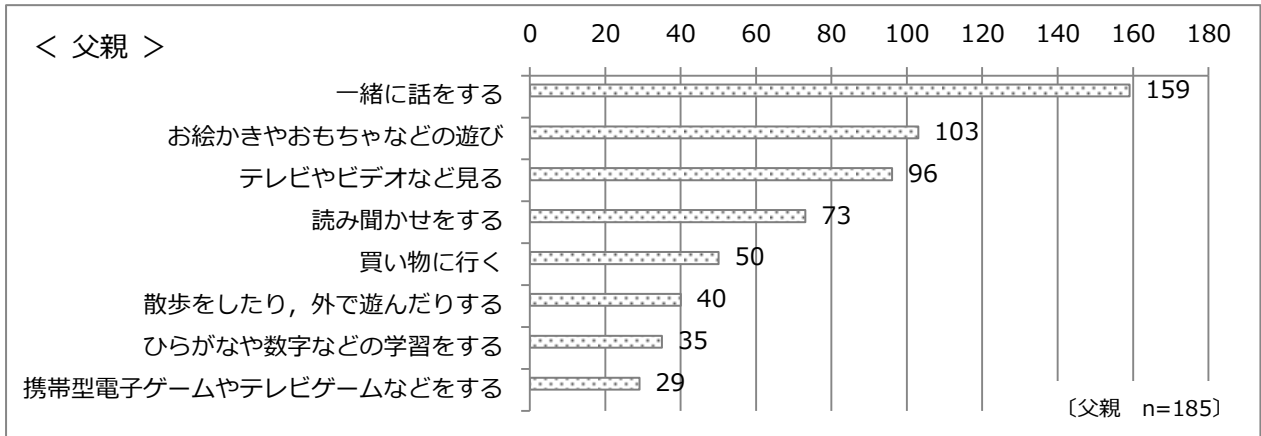
「父：1時間以上」目標値（H29）：55%



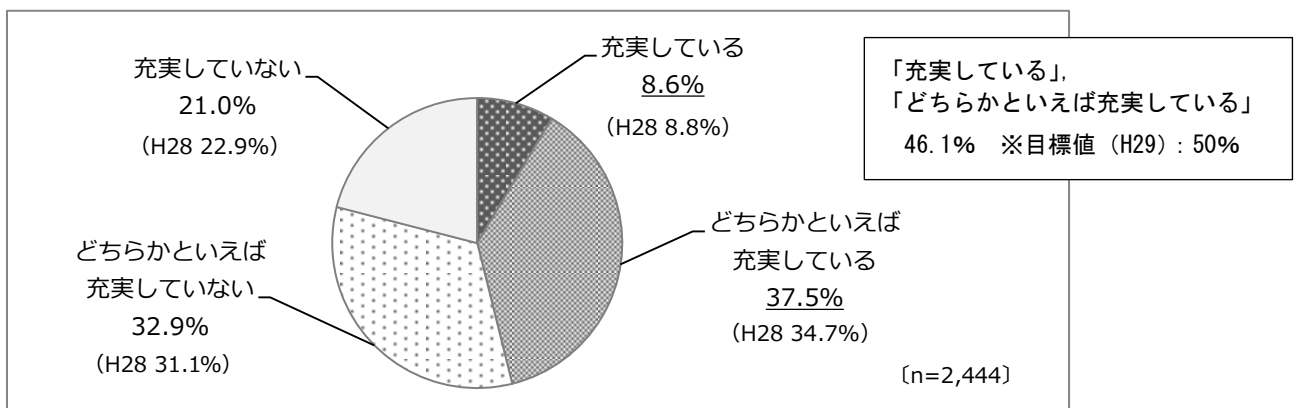
1-2

1-1で回答した時間において、お子さんと一緒に何をすることが多いですか。（該当するもの全て選択）★目標指標 No. 2

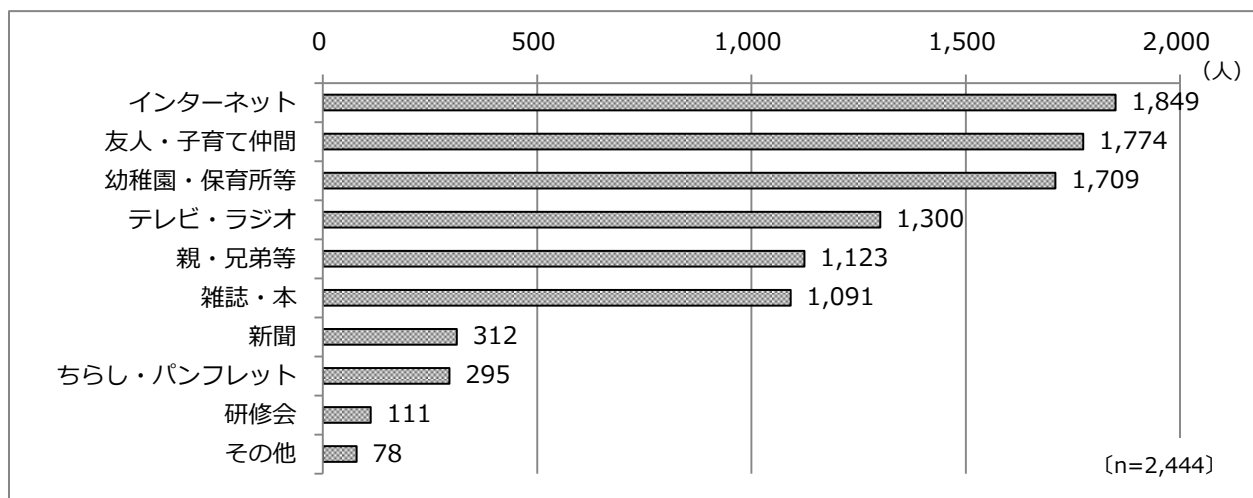
「読み聞かせをする」保護者の割合 49.4% ※目標値 (H29) : 75%



1-3 親として成長していくための学ぶ機会（母親学級や父親学級, 両親学級など）は充実していますか。★目標指標 No. 4



1-4 子育てに関する情報（知識）は、主にどのようなところから得ていますか。（該当するもの全て選択） ※H29新規



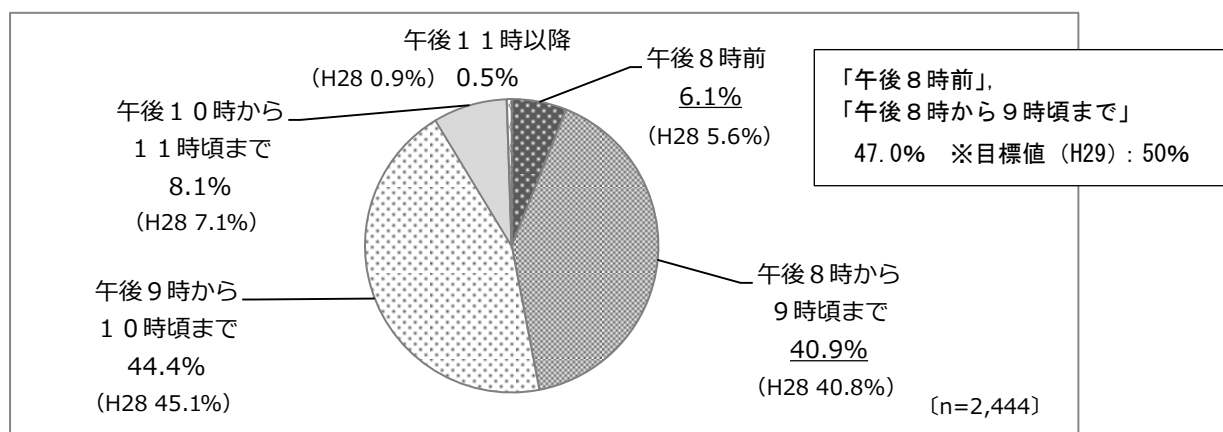
※その他： 職場の先輩・同僚，有名講師の講演会，習い事先，SNS，配偶者，実践から，市町村の催し・保健士 等

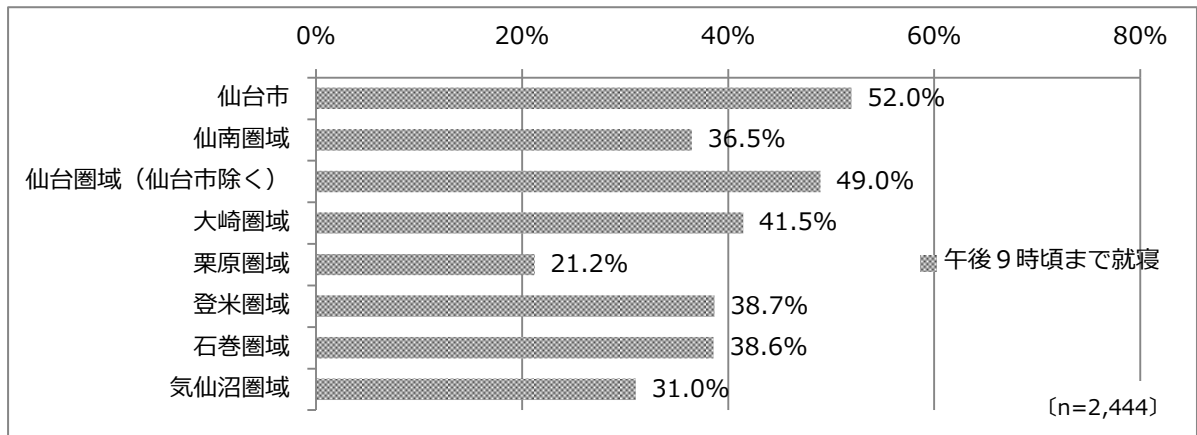
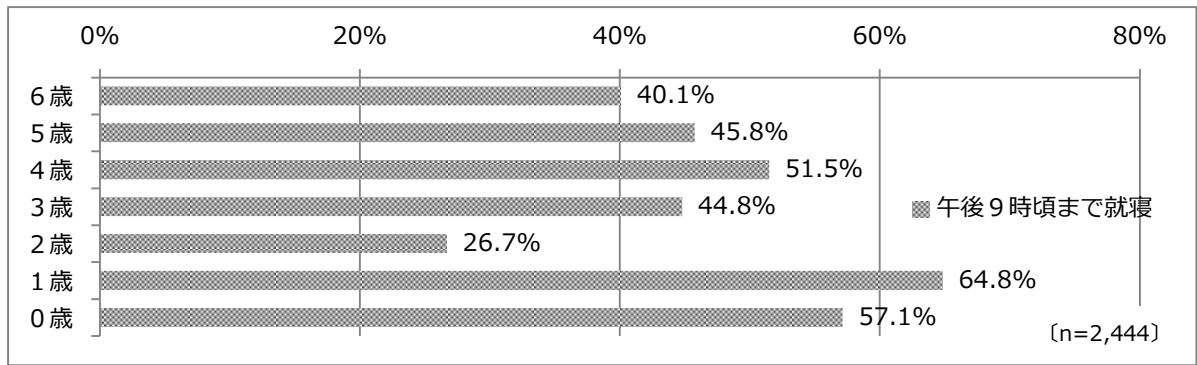
<概要①>

- ・ 子供と触れ合う時間（1-1）については、1時間以上の割合が、父親は69.2%であり、昨年度から5.3ポイント減少した。また、母親は91.6%であり、1.5ポイント増加した。
 - ・ 親の学ぶ機会（1-3）については、「充実している」と「どちらかといえば充実している」を合わせた割合が46.1%であり、昨年度から2.6ポイント増加した。
 - ・ 子育てに関する情報の入手先（1-4）については、「インターネット」，「友人・子育て仲間」，「幼稚園・保育所等」が多く、「新聞」や「ちらし・パンフレット」，「研修会」が少なかった。
- ⇒ 情報提供の仕方を見直す必要がある。

2 お子さんの基本的生活習慣について

2-1 お子さんはいつも何時頃に寝ていますか。 ★目標指標 No. 5

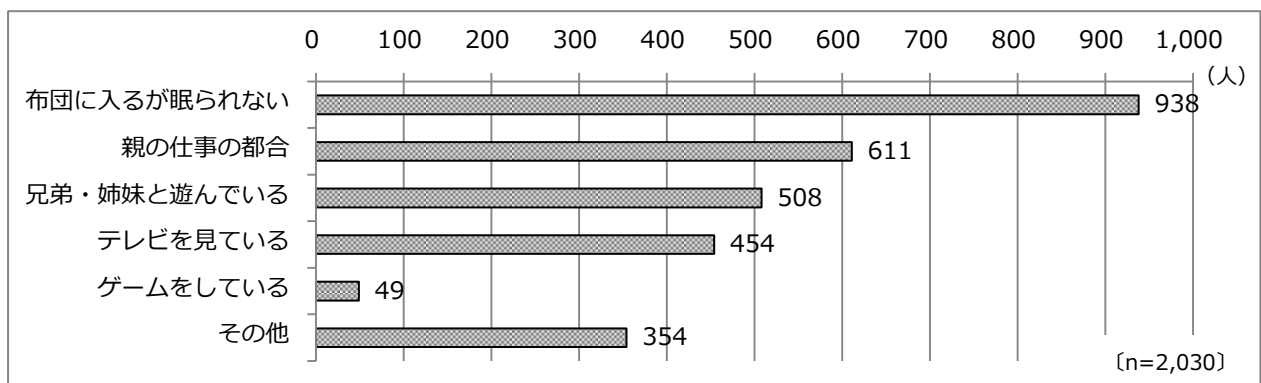




<概要②>

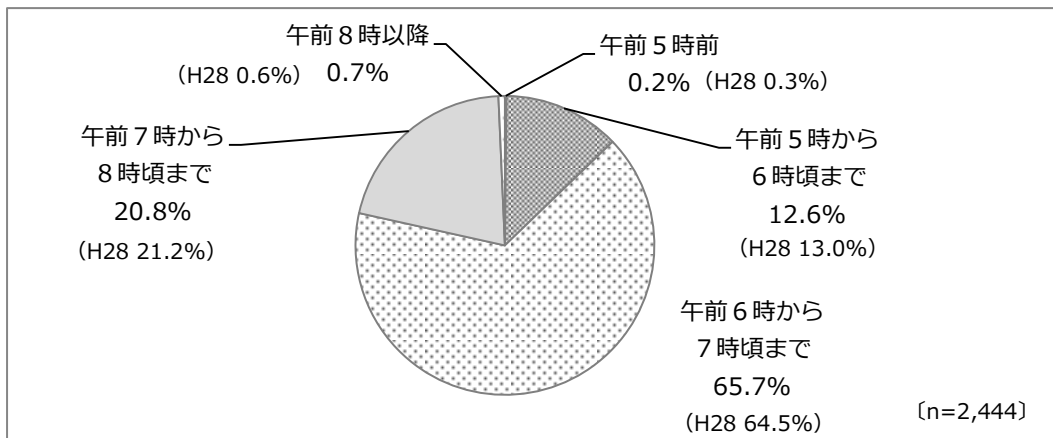
- 子供の就寝時間については、午後9時頃までに就寝する割合が47.0%であり、昨年度から0.6ポイント増加した。また、午後11時以降に寝る子供の割合は0.5%であり、昨年度から0.4ポイント減少した。
- 午後9時頃までに就寝する割合について、年齢別では、2歳の子供の割合が低くなっている。

2-1-1 お子さんが午後9時以降に寝ることがある場合どのような理由ですか。(該当するもの全て選択)

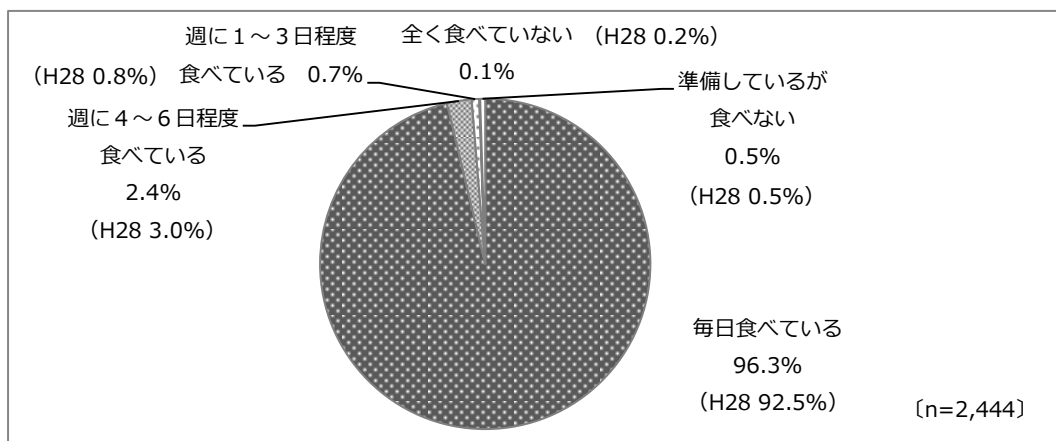


※その他： 昼寝を多くしたとき、夕方以降寝てしまったとき、母親が眠るのを待っていて、来客のとき、旅行・誕生日等のイベント、父親が帰ってくるタイミングと重なるとき、習い事（自分・兄弟）等

2-2 お子さんはいつも何時頃に起きますか。

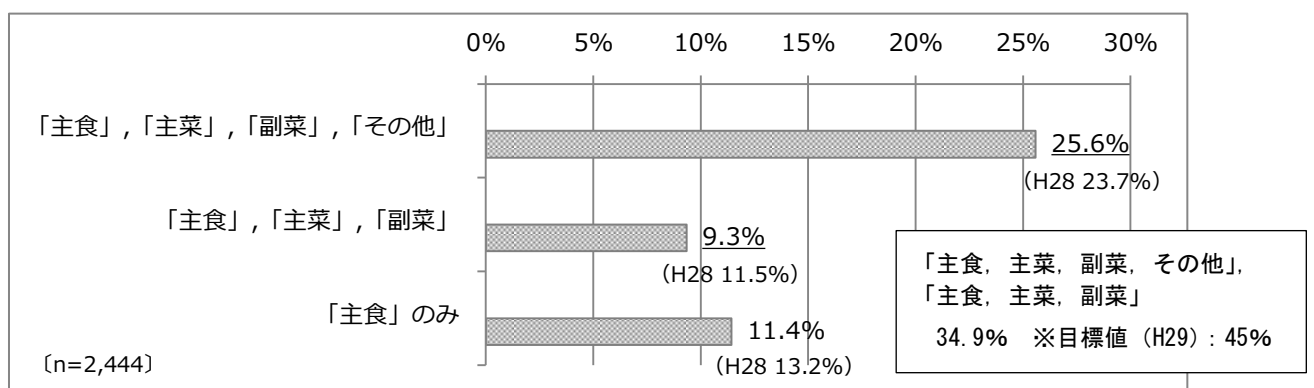


2-3 お子さんは毎日、朝ごはんを食べていますか。



2-4 お子さんの朝ごはんにそろえるものは「主食」「主菜」「副菜」のどれが多いですか。

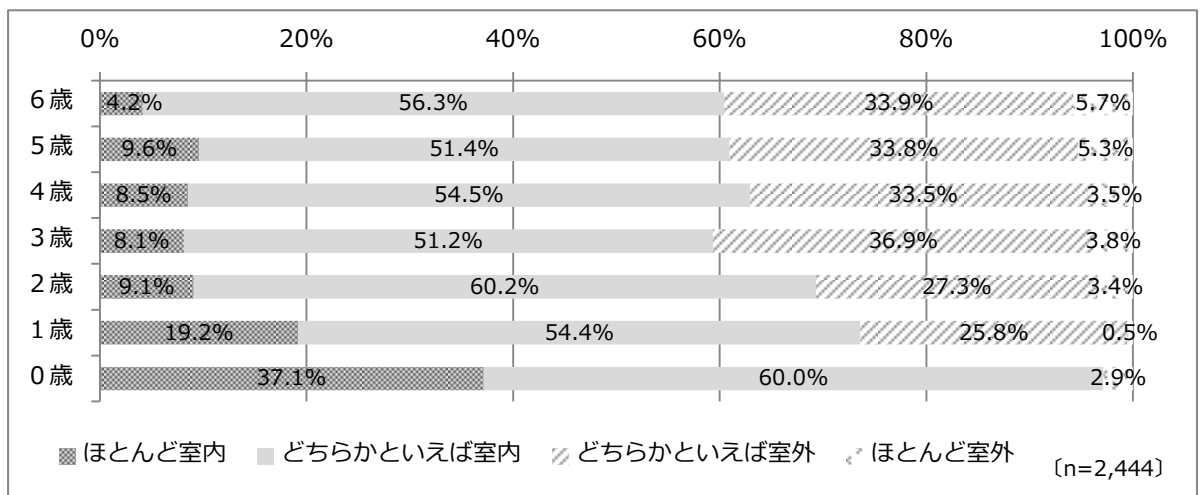
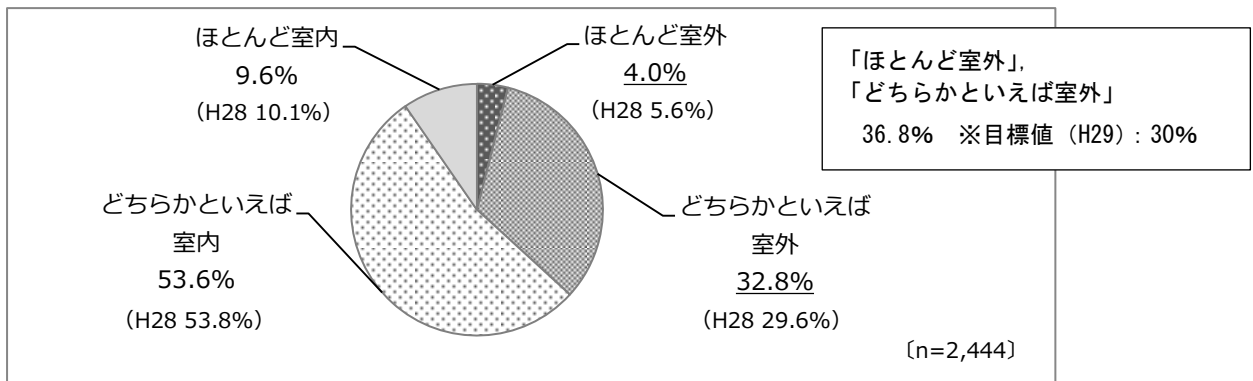
★目標指標 No. 7



<概要③>

- 朝食（2-3）については、「毎日食べている」割合が96.3%であり、昨年度から3.8ポイント増加した。
- 朝食に「主食・主菜・副菜・その他」又は「主食・主菜・副菜」をそろえる割合（2-4）は34.9%であり、昨年度から0.3ポイント減少した。

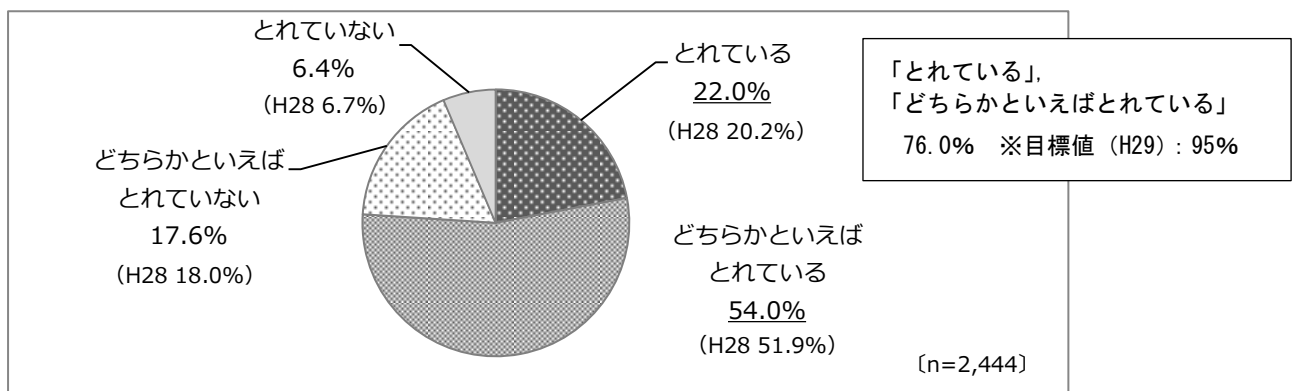
2-5 お子さんは平日や休日に家庭で遊ぶとき、室内、室外のどちらが多いですか。 ★目標指標 No. 8



<概要④>

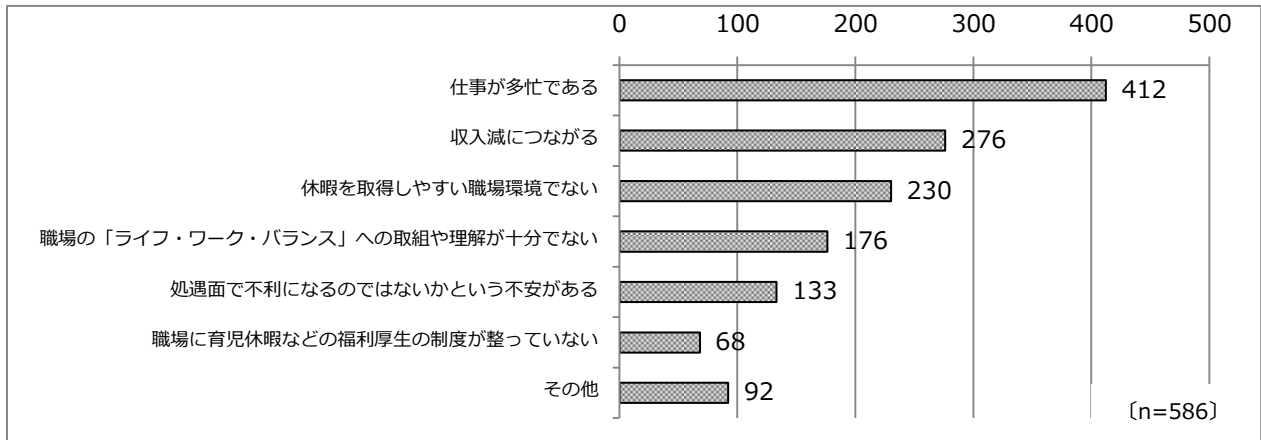
- 遊ぶ場所については、「ほとんど室外」と「どちらかといえば室外」を合わせた割合が36.8%であり、昨年度から1.6ポイント増加した。年齢が上がるごとに、室外で遊ぶ割合が増加する傾向がみられる。

2-6 お子さんの基本的な生活習慣の確立のために、親の仕事と生活のバランス（「ライフ・ワーク・バランス」）がとれていますか。 ★目標指標 No. 3・9



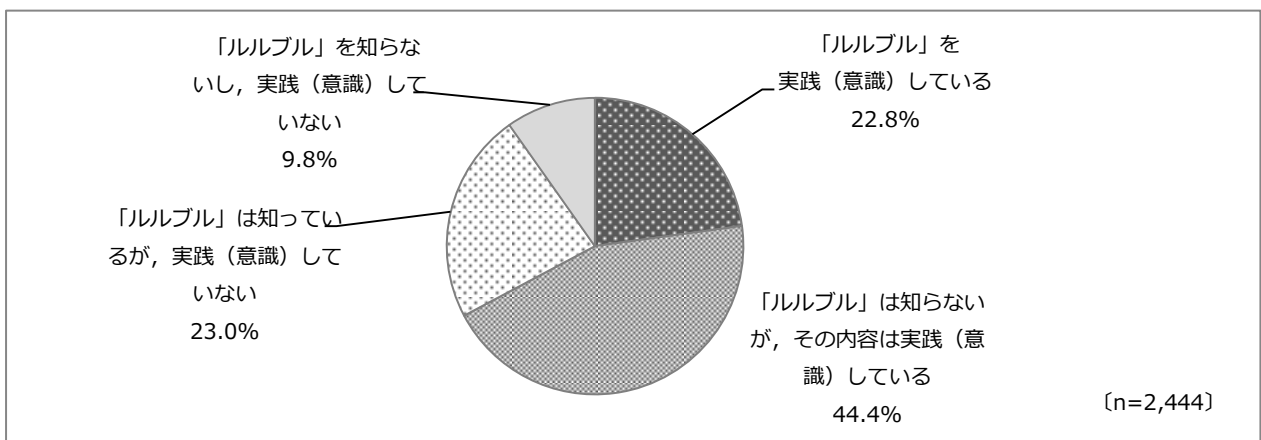
2-7

2-6で「どちらかといえばとれていない」又は「とれていない」と回答した方は、その理由をお答えください。（該当するもの全て選択）



※その他： 通勤時間が長い、パートのため、育児優先で職場復帰できない 等

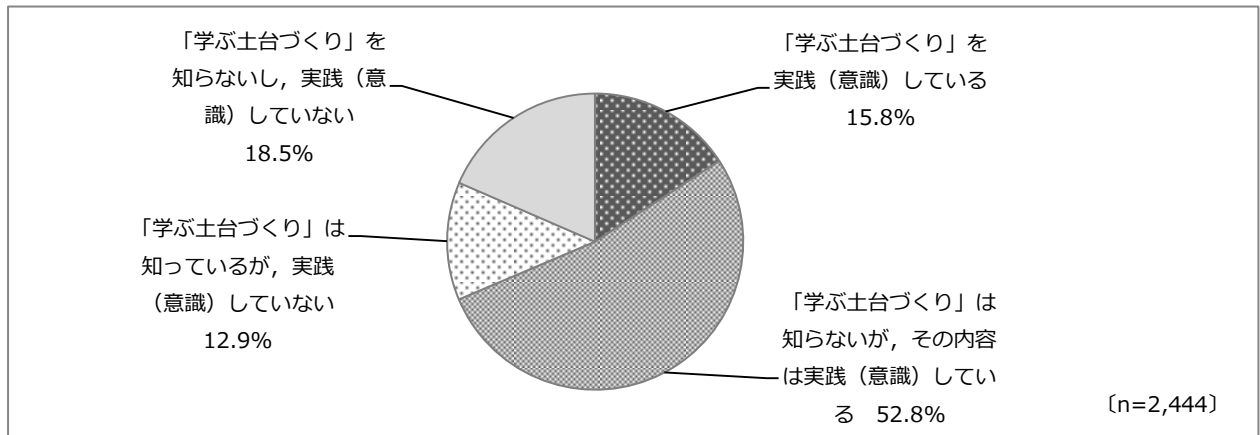
2-8 子供の基本的生活習慣の確立に向けた「ルルブル」の取組に関して、家庭における取組状況についてお答えください。



<概要⑤>

- 「ルルブル」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が67.2%であった。
- 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が23.0%であった。
⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

2-9 幼児教育の充実に向けた「学ぶ土台づくり」の取組に関して、家庭における取組状況についてお答えください。



<概要⑥>

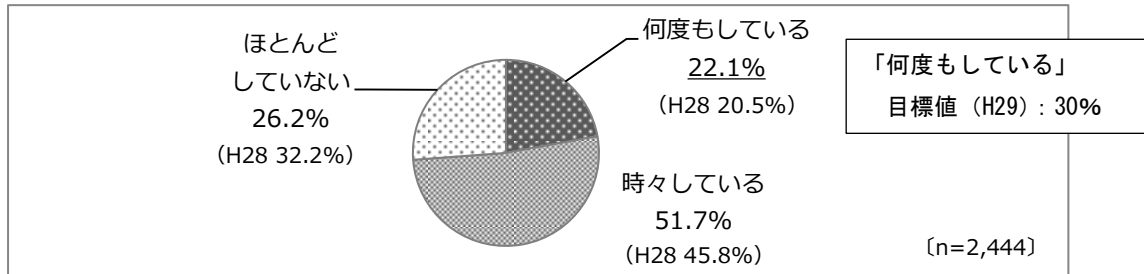
- 「学ぶ土台づくり」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が68.6%であった。
- 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が12.9%であった。
⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

<参考>

	ルルブル		学ぶ土台づくり	
	教員・保育士	保護者	教員・保育士	保護者
実践（意識）している	53.9%	22.8%	54.6%	15.8%
知らないが、その内容は実践（意識）している	13.7%	44.4%	18.6%	52.8%
知っているが、実践（意識）していない	29.3%	23.0%	20.5%	12.9%
知らないし、実践（意識）していない	3.2%	9.8%	6.4%	18.5%

3 お子さんの体験活動について

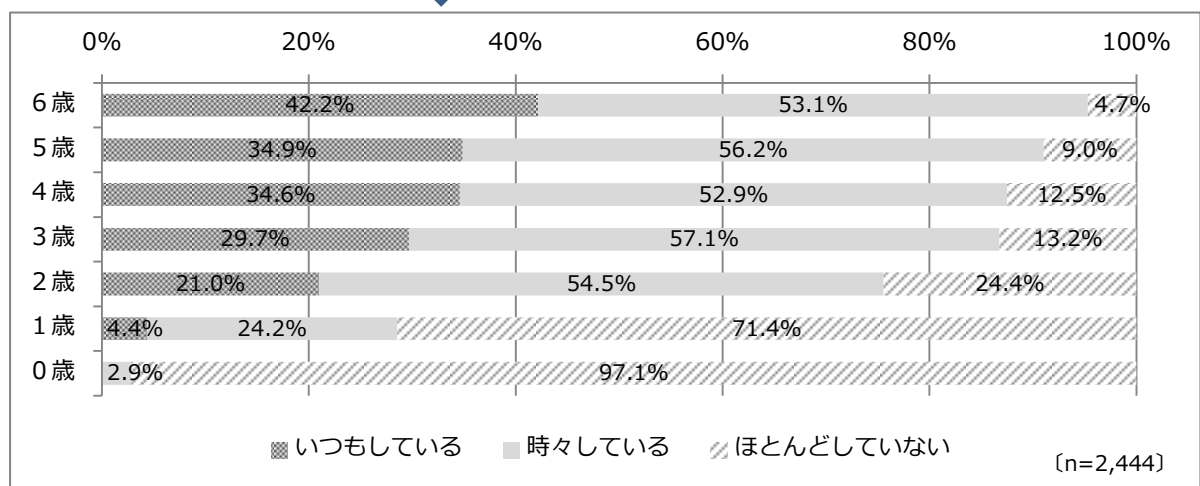
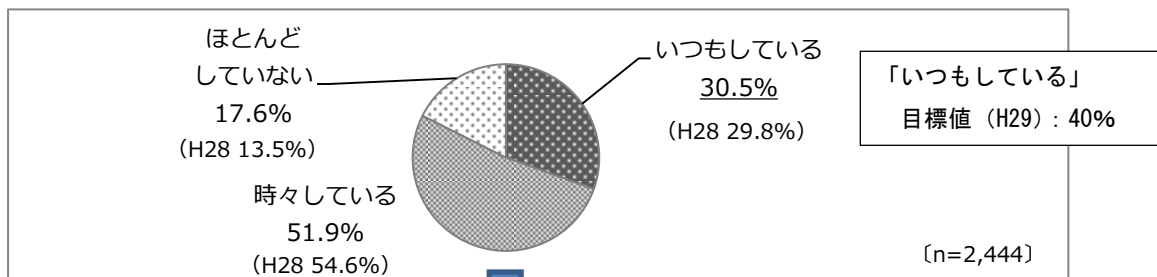
3-1-1 お子さんは自然体験活動（水遊び、虫捕り、キャンプ、ハイキングなど）をどの位していますか。 ★目標指標 No. 10



<概要⑦>

- 自然体験活動については、「何度もしている」の割合が22.1%であり、昨年度から1.6ポイント増加した。

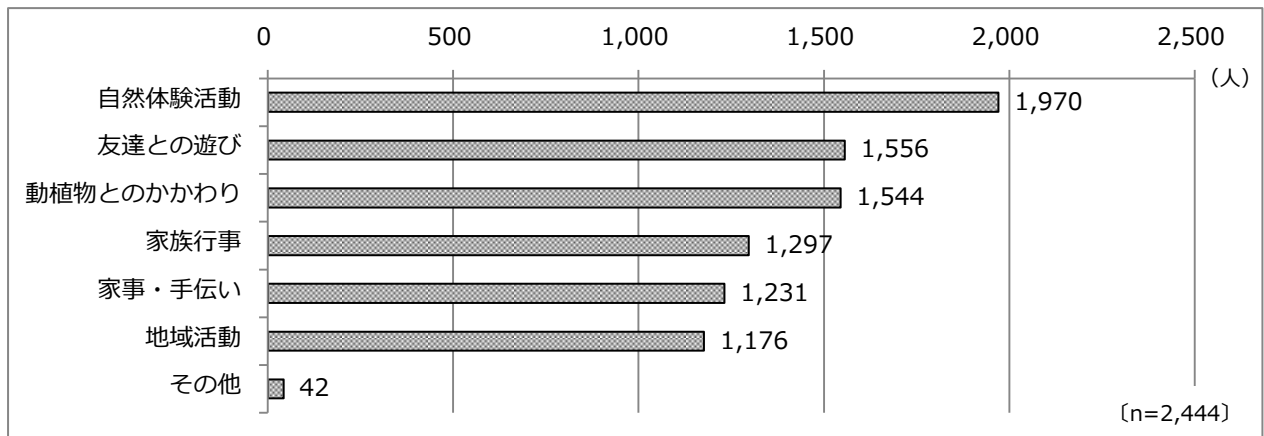
3-1-2 お子さんは家事・手伝い（食事の配膳・片付けや掃除、洗濯物をたたむなど）をどの位していますか。 ★目標指標 No. 11



<概要⑧>

- 家事・手伝いについては、「いつもしている」割合が30.5%であり、昨年度から0.7ポイントと増加した。年齢が上がるごとに、家事・手伝いを行う傾向が見られており、6歳の「いつもしている」割合は42.2%となっている。

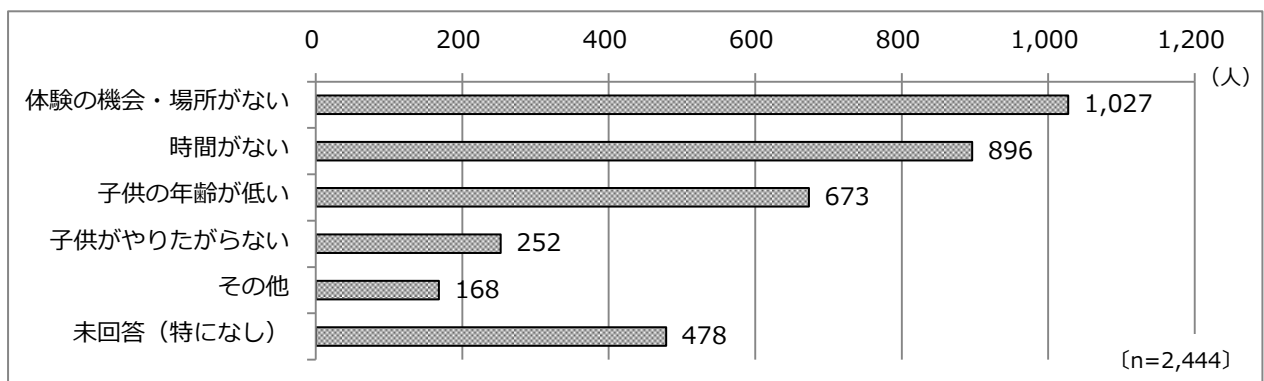
3-2 家庭や地域でお子さんに体験させたい活動をお答えください。(該当するもの3つ選択)



※その他： 習い事・勉強, 成功体験, 海外交流, 英語, 全て体験させたい(3つに絞れない), 本人の興味があること全て 等

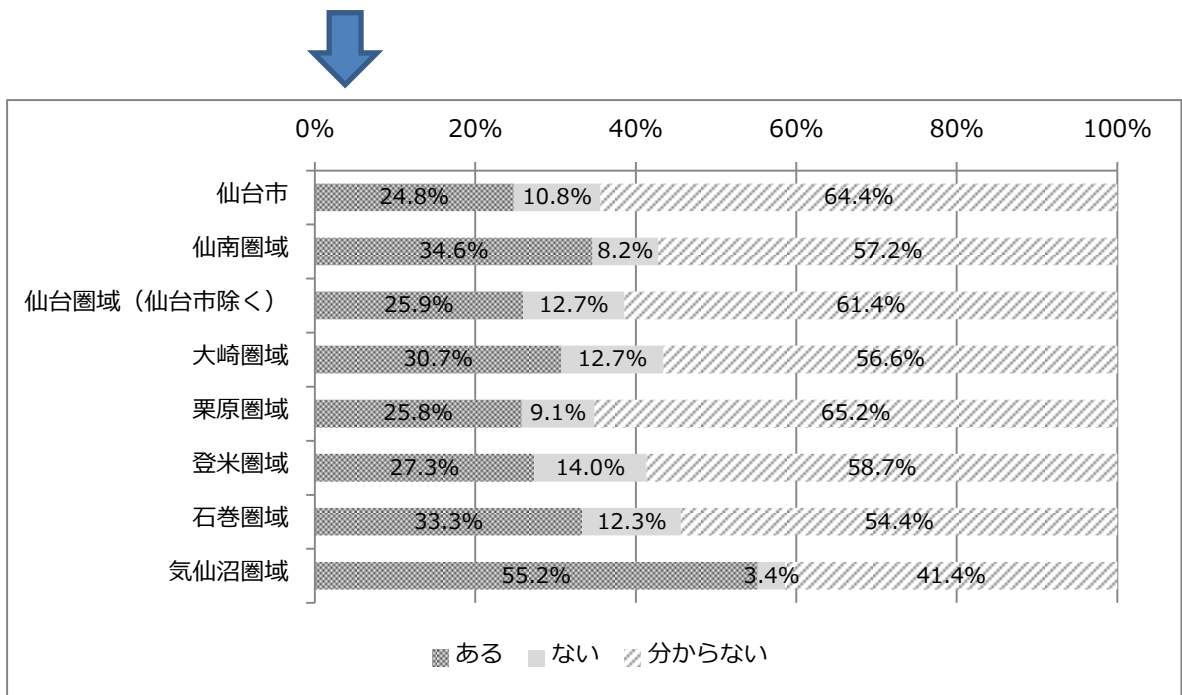
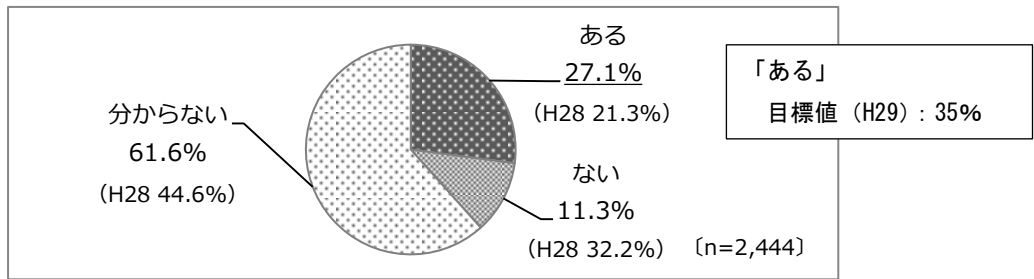
3-3

3-2の活動について, お子さんに体験させることが難しいと感じることがありましたら, その理由をお答えください。(該当するもの全て選択) ※H29新規



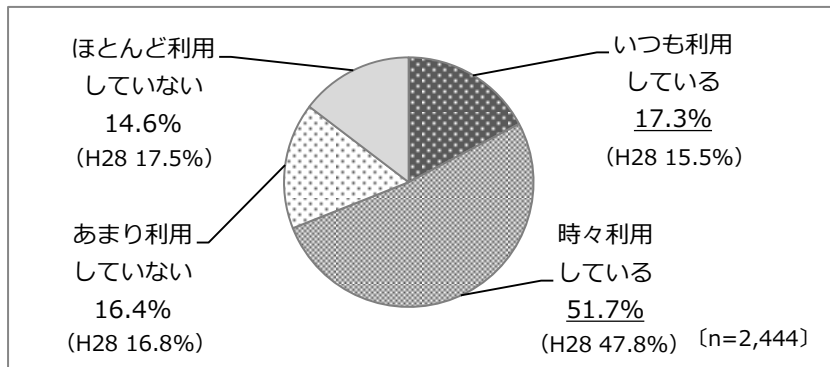
※その他： 兄弟の関係, 仕事で親に余力がない, 体調管理との兼ね合い, 家族の都合が合わない, 親の経験が少ない 等

3-4 あなたがお住まいの地域では、自然体験活動等について参加できるイベントや催しなどがありますか。 ★目標指標 No. 12

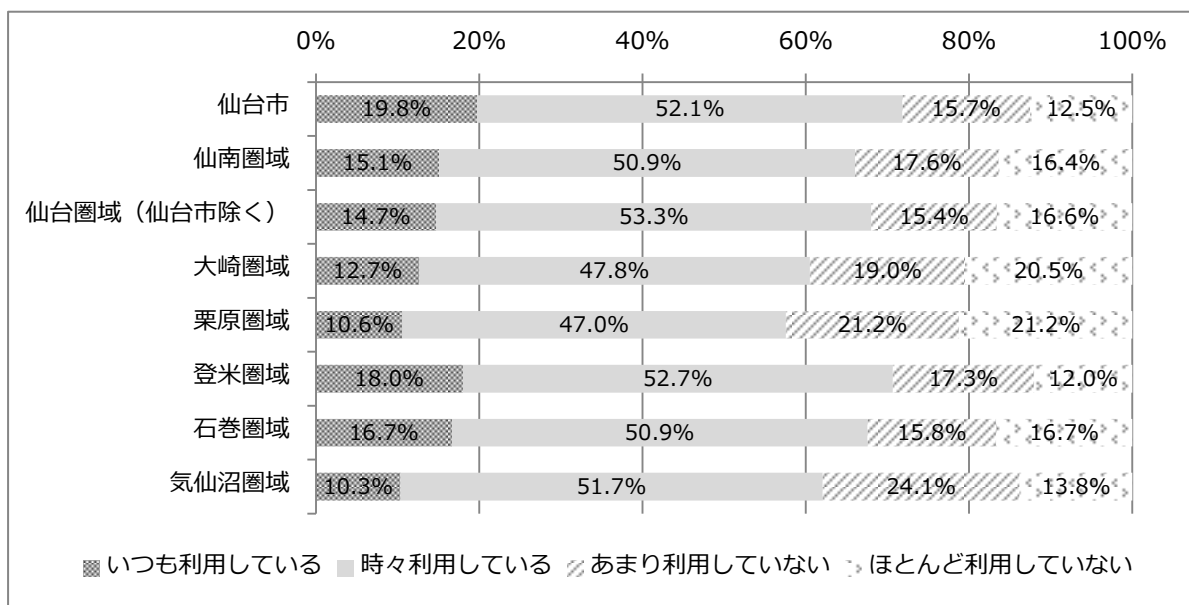


3-5 遊び場として、公園や公民館、児童館などのコミュニティ施設を利用していますか。

★目標指標 No. 13



「いつも利用している」
「時々利用している」
69.0% ※目標値 (H29) : 65%

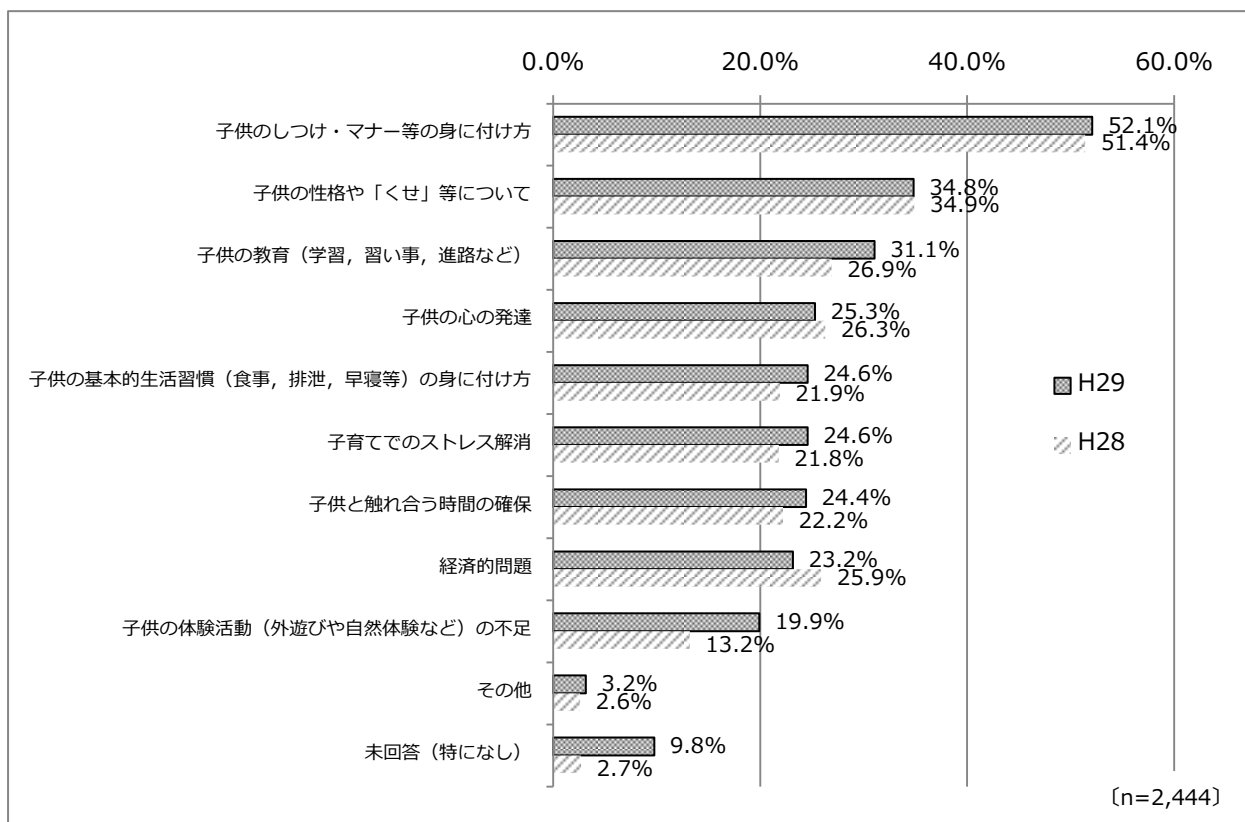


<概要⑨>

- 地域で参加できるイベントや催し（3-4）については、「ある」の割合が27.1%であり、昨年度から5.8ポイント増加した。圏域別では、気仙沼圏域の割合が55.2%と高くなっている。
- 遊び場としてのコミュニティ施設の利用（3-5）については、「いつも利用している」と「時々利用している」を合わせた割合が69.0%であり、昨年度から5.7ポイント増加し、目標値の65.0%を超えている。

4 幼児教育の環境について

4-1 子育てで悩んでいることがありましたら、その内容をお答えください。(該当するもの全て選択)



※その他： 仕事と子育ての両立, 親が大人の時間を持つことへの不寛容, 夫不在で全てを一人でこなしている, 預け先がない, 子育ての情報過多, 幼児を連れて利用できる施設が少ない 等

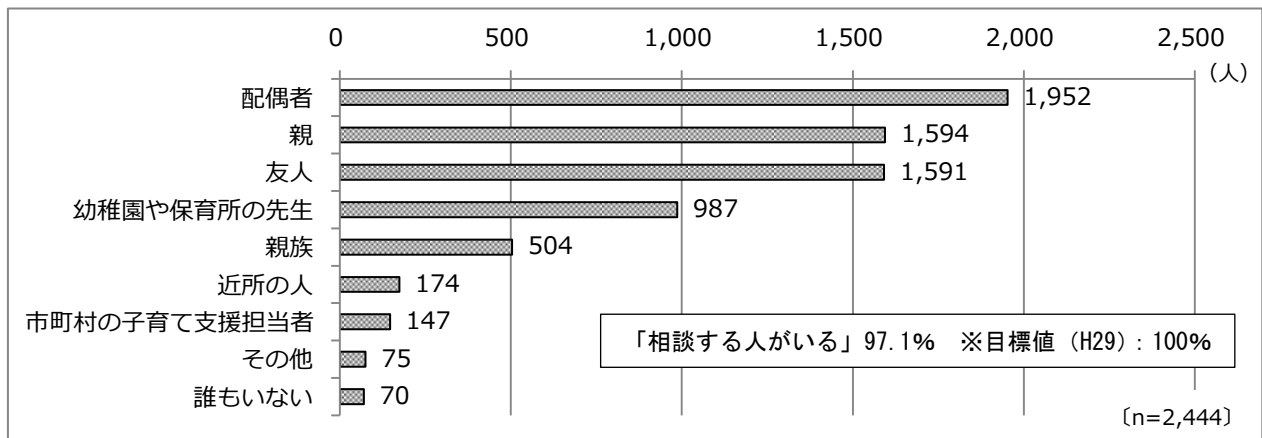
<年齢別：上位の項目>

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
1位	触れ合う時間	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー
2位	しつけ・マナー	触れ合う時間	基本的生活習慣	性格や「くせ」等	性格や「くせ」等	性格や「くせ」等	教育
3位	基本的生活習慣	基本的生活習慣	触れ合う時間	基本的生活習慣	教育	教育	性格や「くせ」等
4位	健康と医療	健康と医療	性格や「くせ」等	教育	心の発達	心の発達	経済的問題
5位	経済的問題	経済的問題	経済的問題	ストレス解消	ストレス解消	経済的問題	触れ合う時間

<概要⑩>

- 子育てで悩んでいることについては、「子供のしつけ・マナー等の身に付け方」が52.1%と最も高く、上位4項目は昨年度から変更なかった。また、「子供の基本的生活の身に付け方」が昨年度から2.7%増加し、24.6%となったほか、「子供の体験活動の不足」が昨年度から6.7ポイント増加し、19.9%となった。

4-2 子育ての悩みについて誰に相談していますか。(該当するもの全て選択) ★目標指標 No. 19

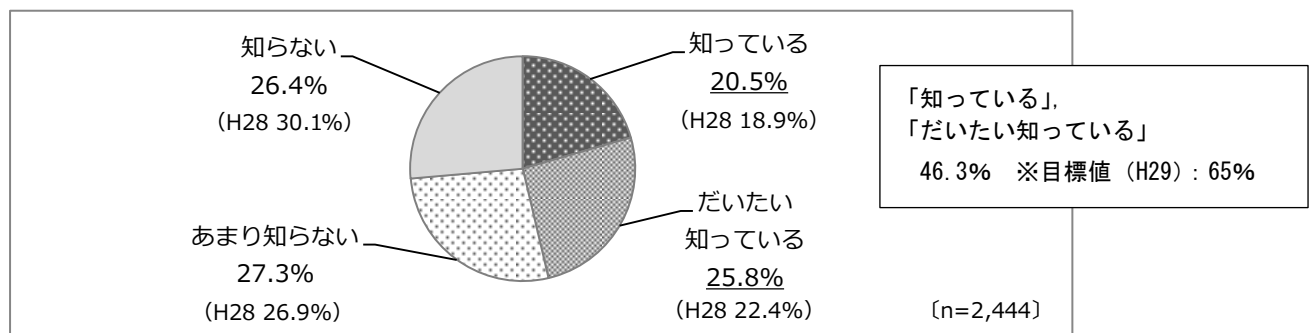


※その他： 子供の主治医、医療関係者、仕事上のお客、職場の同僚、ママ友、SNS 等

<概要⑪>

- 子育ての悩みの相談相手については、「配偶者」、「親」、「友人」、「幼稚園や保育所の先生」が多かった。
- 「誰もいない」と回答した割合は、父親が7.0% (13人)、母親が2.5% (57人)であり、父親の割合が高くなっている。
⇒ 幼稚園や保育所等における子育て支援のより一層の充実と育児を行う父親へのサポートの仕方を検討する必要がある。

4-3 お子さんの行動（落ち着きがない、パニックを起こしやすい等）が気になるときの相談先を知っていますか。 ★目標指標 No. 18



<概要⑫>

- 子供の行動が気になるときの相談先については、「知っている」と「だいたい知っている」を合わせた割合が46.3%であり、昨年度から5.0ポイント増加した。

4-4 発達障害（ADHD，LD，自閉症など）の一般的特徴や関わり方などについて知っていますか。

